

## 認定調査とつきクン通信（第5号）

2-2 (特記内容)

食堂や浴室などへ移動する時には声かけを行っている。 \*見守り等\*  
(●施設入所者)

### あなたならどのように、書きますか？ 考え中・・・

---

ココより下を折って、考えてネ。 自分の特記ができた後で見てください。

**確認事項** (専門調査員からの確認内容)

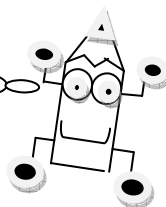
確認ですが、トイレは見守りなく移動を行っているのでしょうか。介助の手間が違う場合は頻度の多い方で判断です。見守りが多いと判断したのでしょうか。

**回答** (調査員から)

頻度で判断との事ですので、食堂や浴室へ行くための声かけをする回数よりも自分でトイレに行く回数の方が頻度的には多いため「自立」へ変更する。

\*介助されていない(自立)\*

**2群移乗・移動・排泄・着替え**等は特に状況によって介助内容が違う場合は頻度を含めて具体的に特記へ・・・。



### 注意点

○一定期間（調査日より概ね過去1週間）の状況において、より頻回に見られる状況や日頃の状況で選択する。日頃の状況を頻度等含め具体的に特記事項に記載する。

### 記載例

居室のとなりにあるトイレまでの「移動」（6回程/日）など、通常は自分で介助なしで行っているが、食堂（3回/日）及び浴室（週数回）は、場所が分からなくなるため声かけにて「移動」する。自分にトイレで行く頻度の方が多いことから「介助されていない」を選択する。



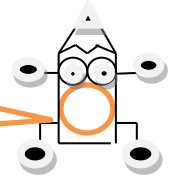
介護保険課認定係  
平成25年10月1日

## 認定調査とつきクン通信 (H25第7号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

### 2-2 移動

ここは、1-7歩行と矛盾がないよう聞き取ることが必要だよ。  
また、外出時はどうなのか必ず聞いて書いてね。



#### 聞き取り方

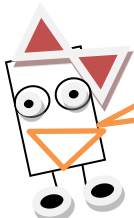


主に室内に於いて、トイレ等へは、どのように行くのですか？

#### 聞き取った内容

⇒ 誰も居ない時は、歩けないので這って行く。

#### 追加で聞き取り



普段は誰も居ない時が多いのですか？また、居る時は介助で行くのですか？

#### 追加で聞き取った内容

⇒ 日中は息子が仕事で不在  
誰も居ない時は何とか這ってトイレ等に行く。息子が帰って来てからは、腰を支えてトイレ等に連れて行ってもらっている。

#### 再び追加で聞き取り



一日の中でトイレに行ったり食堂や入浴の移動の回数は何回位ですか？また、自分で移動する回数と息子が移動に介助する回数とどちらが多いですか？1週間の状況では頻度が多いのはどちらですか？外出はどのように行くのですか？

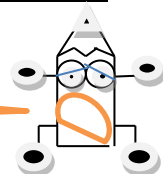
#### 再度追加で聞き取った内容

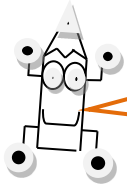
⇒朝、息子の介助でトイレに行き、日中は這って自分で行くのが3回位。息子が帰ってから夜間等を含めて4回ほどトイレに連れて行ってもらっている。入浴は週に3回浴室に連れて行ってもらおう。通院等の外出は息子が車椅子介助している。

#### 確認した状況から特記

日中息子が仕事で不在の時は何とか這ってトイレに行っている。(日に3回) 朝、夕方、夜間を含めトイレや入浴等で息子が腰を持って介助(日に5回以上)で移動する方が多い。外出は車いす介助。 選択肢「一部介助」

今回は僕の出番が、ほとんどなかったなあ





本年度、最後の通信です。  
さあ！ステップアップしましょう。



介護保険課認定係

平成27年3月2日

## 認定調査とつきクン通信（H26第11号）

（H26年度は皆さんが実際に書いた特記から通信内容を作成します）

### 2-2 移動

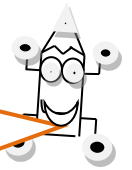
#### 調査員の特記



転倒しやすいが、介助なしで行っている。外出も近くを歩くようにしている。

選択肢 「自立」

テキストをじっくり読み込んで簡単明瞭に書いたつもりだと思うけど・・・  
あともう一步！どうしてかわかるかな？



#### 専門調査員からの問い合わせ内容

- ・概況欄（主訴、家族状況・・・等）に状況の記入があります。この記述は「2-2」又は「1-7」の項目に書くようにしてください。なお、頻回に転倒・・・とはどの位の頻度ですか。

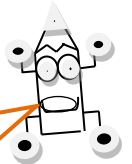
#### 問い合わせの回答



日中独居のため一人で移動を行っているが、転倒が週1回位あると聞き取った。調査時も目のまわりに傷あとが確認された。

選択肢 「自立」

概況欄（主訴、家族状況・・・等）に書かれている事は、審査会では変更の理由にはできないという決まりがあるよ。  
必要な情報は項目のところに記載してね。



#### 確認しなかったこと

- ・一定の期間（調査時より概ね1週間）の状況において、より頻回に見られる状況や日頃の状況で判断する。日頃の状況を頻度等も含めて具体的に特記事項に記載する。※尚、転倒の頻度によっては適切な「介助の方法」を選択し、介護認定審査会の判断を仰ぐこともできる。

#### より良い特記

日中独居のため一人で移動を行っているが、転倒は週1回位ある。調査時も目のまわりに傷あとが確認された。近所へは一人で外出している。

選択肢 「自立」



とつきクン通信を通して、これからも認定調査員の皆さんを応援していきます。



## 認定調査とつきクン通信（H28第6号）

（H28年度は皆さんが書いた特記から「あいまいな表現」について考えます）

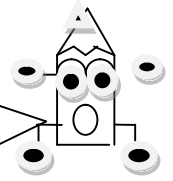
### 2 - 2 移動

皆さんが書いた特記

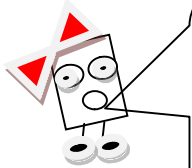
3 m先のトイレまでは、家族の介助で歩くが、5 mは歩けず車椅子移動をしている。

選択肢 「全介助」

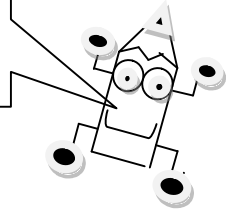
う～ん。歩行（能力）と移動（介助の方法）は情報が重なる事があるね。  
トイレへ行く時とその他の車椅子で全介助する頻度はどうなのかな？  
食事の時テーブルに行ったり、風呂場に行ったり、居宅内の移動の状況は？



家族の話では、急激に体調悪化し、  
ほぼ寝たきり状態。  
本人の強い気持ちでトイレだけはベッド  
から起き、腰を支えられて行くそうです。  
食事はベッド上で食べ、入浴は清拭のみ。  
体調を見て、1日1回リビングに行く時  
車椅子介助をする位の頻度。



さすが！聞き上手だね。  
項目の定義に照らし合わせた  
情報整理をすると分かり易い  
特記となるよ。



### どこが《あいまい》だったのか

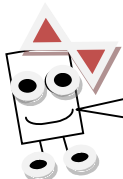
家族がトイレへ介助歩行する回数と、車椅子介助で移動する回数、どちらがより頻回なのかが  
わからず、全介助と言えるかの判断ができない。

問い合わせた結果、以下の特記に修正されました

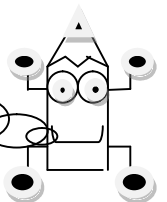
3 m先のトイレまでの移動は、本人の強い希望で腰を支えられ移動している（日に5～6回）。  
食事はベッド上で食べ、浴室へは行かず清拭のみの為、車いす利用は体調の良い時に1日1回程度  
リビングへ行く時のみである。

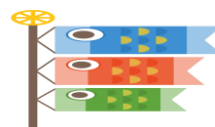
選択肢 「一部介助」

とつきクンのアドバイスを  
今度の認定調査票に生かすわ～



日常生活での必要な場所への移動に  
どのような介助が行われているか。  
具体的な状況と頻度の記載が  
キーワードだよ





## 認定調査とつきクン通信（H30第2号）

（H30年度は、「介護の手間の量」を把握できる特記について発行いたします）

ケシ子ちゃんの調査

### 2-2 移動「自立」

今年度は、認定審査会委員の  
立場で特記を考えてみるよ。

**特記①** 日常生活の移動においては、手すり等に掴まりながら自分で移動している。

毎日、どこへどのような方法で移動しているのかな？  
行動範囲や移動方法も個人差があるよね。  
歩行の能力を確認しながら、介助があるのかなのか  
色々聞いていると思うけどな。

日頃の状況を頻度も含めて聞いたよ。  
居室から食堂やトイレ・風呂場へ行く時、  
回数を記入したほうがいいのか。  
部屋の中では転ぶこともあるので、慎重に歩くとも  
話してくれたのよ。

室内の状況と外出時の状況も併記してほしいな。

実際の状況をわかるよう  
書き直すわ！

### 「自立」

**特記②** 日常生活における屋内の移動機会は、食事（3回/日）、排泄（8～9/日）、入浴（1～2回/週）である。自室からの移動では、手すり等に掴まりながら自分で移動している。但し、自室の中に掴まる場所がなく不安定で、1日1回程度転倒する。通院時は、家から車までは家族の手に掴まりながら移動しており、病院内では車いすを使用し、家族に押ししてもらっている。

特記事項は審査判定において「選択根拠の確認」と「介護の手間」を  
みるために重要な要素となるよ。認定調査員の皆さんの専門性を発揮  
するところだね。特記クン通信を通して応援していくよ。





# 認定調査とつきクン通信 (R1第11号)

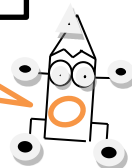
(R1年度は、「選択肢の選択根拠」がきちんと書かれている特記について発行いたします)

ケシ子ちゃんの調査

## 2-2 移動「介助されていない」

**特記① 自宅内では、近くにある物や壁につかまり、一人で移動しているが、時々転倒することがある。**

自力で移動しているようだけど、転倒が気になるなあ～  
どんな状況で転んでしまうのか、頻度も含めて聞いているかな？



頻度は具体的に記入するんだね。  
転倒の理由も聞いたから書くね。



もう一つ、移動の機会は、自宅ばかりではないと思うけど  
どんな時でも、一人で動いているの？



通所や夫と一緒に通院・買い物に出かけるそうよ。  
場面によって、介助の方法は違うと聞いたので、介助の手間  
として書き加えるね。



## 「介助されていない」

**特記② 自宅内は近くにある物や壁につかまりながらトイレ等一人で移動しているが、左足が上がらず、摺り足気味の為、転倒する事が月1～2回ある。先月も転倒し、顔・腰部を打撲した。週2回の通所でも、手すりを伝い移動するが、歩行不安定の為、職員が常時見守りを行っている。通院や買い物は、夫同行で杖使用している。日頃の状況より「介助されていない」を選択する。**

介助の方法で評価する調査項目は、選択根拠・介護の手間・頻度を簡潔に  
特記事項に記入することにより「基本調査項目の選択に反映させる事が出来ない  
調査対象者の状況（介護の手間）を介護認定審査会に伝える」ことができます。  
調査員の皆さん、1年間ありがとうございました。これからも、自信をもって  
調査に取り組めるよう、一緒に研鑽していきましょうね。

